

**R - S P 3 4 E**

**製品安全データシート**

会 社：株式会社イフィー  
住 所：千葉県野田市山崎 2230-5  
電話番号：04-7126-4805  
F A X：04-7126-4807

作成：2003年2月18日

整理番号：No. 002

1. 製品

- (1) 製品名 **R-SP34E 200g 缶**  
**R-SP34E** オイルコンディショナー **50g 缶**

(2) 物質のクラス別及び化学・物理的性質

- A. 国連分類：クラス 2.2  
B. 国連番号：1950  
C. ICAO/IATAクラス：PRIMARY2.2  
D. IMDGクラス：PRIMARY2.2  
E. 外観：無色透明の液化ガス  
F. 臭気：微小エステル臭  
G. 沸点/1気圧(C)：-26.1℃  
H. 沸点における飽和蒸気密度：5.1 kg/m<sup>3</sup>  
I. 沸点における飽和液体密度：1367.6 kg/m<sup>3</sup>  
J. 沸点における蒸散熱：217 KJ/kg  
K. 20℃における飽和液体熱伝導：0.088W/m. k  
L. 20℃における飽和蒸気熱伝導：0.0134W/m. k  
M. 20℃における飽和液体密度：1210 kg/m<sup>3</sup>  
N. 20℃における飽和蒸気密度：27.8 kg/m<sup>3</sup>  
O. 発火点：不熱  
P. 引火点：非引火性  
Q. 水溶性：0.639%  
R. 腐食性：無腐食性  
S. 搔痒刺激性：無搔痒刺激性

: さらに疾部を多量の温水で十分洗浄する。

: 刺激が残ったり水泡ができることなど症状が現れた場合、医師の診察を受ける。

(2) 眼に入った場合: 洗浄液あるいは清浄な水で15分以上洗顔し、直ちに医師の診察を受ける。

(3) 吸引した場合: 患者を空気が新鮮な場所へ写し、毛布などで保温して安静させる。  
: 必要に応じて酸素吸入を行う。呼吸が停止している場合は人工呼吸を行う。

: 心臓が停止している場合は、心臓マッサージを行う。

: 直ちに医師の診断を受ける。

—警告— アドレナリンあるいは類似の交感神経系薬剤を使用しないこと。

(4) 飲み込んだ場合: 通常の使用において飲み込むことは考えられないが、万一飲み込んだ場合は無理に吐かないこと。

: もし患者に意識のある場合は口内を水で洗浄し、200-300mlの水を飲ませる。

: 直ちに医師の診断を受ける。

#### その他医療上の注意

対症療法及び維持療法を行うこと。

アドレナリンあるいは類似の交感神経系薬剤を使用しないこと。アドレナリンなどのカテコールアミン類が血中に存在すると、心臓感作性が生じ、不整脈及びこれに続く心停止を引き起こす恐れがある。

#### 5. 火災時の措置

**R-SP34E** は、通常的环境下では不燃性であるが、実験においては高い圧力の下でR-SP34と空気の混合ガスが可燃性を示した。実験器具内において混合ガスの温度170℃、圧力約5kgf/cm以上の条件下で**R-SP34E** 含量8-12体積% (残りは空気) で可燃性を示した。(1)

—警告— **R-SP34E** を耐圧試験や気密試験に使用しないこと。

(1) 消 火 方 法: 可能な場合は、速やかに容器を安全な場所へ移す。

: 移動できない場合は、容器及び周辺に散水して冷却し、延焼を防ぐ。

: 火災現場では、呼吸器保護具(酸素ボンベ付きマスク等)及び十分な保護衣服などを装着すること。

(2) 消 火 剤: **R-SP34E** は不燃性なので、周辺の火災に対して適切な消火剤を選定し、使用する。

(3) その他の注意事項: 加熱により容器爆発が起こる場合がある。

: 熱分解により、フッ化水素(HF)及び微量のフッ化カルボニル(COF<sub>2</sub>)等非常に有毒かつ腐食性の強いガスが発生する恐れがある。

## 8. 暴露防止措置

- (1) 管理濃度 : 未設定
- (2) 許容濃度 : 日本産業衛生学会 (1995年度) 記載なし  
 : 米国ACGIH (TLV) (1995~1996年度版) 記載なし  
 : 米国AIHA WEEL TWA 1000ppm (2)  
 OSHA (1993年度版) 記載なし

【注】ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

TLV: Threshold Limit Value

AIHA: American Industrial Hygiene Association

WEEL: Workplace Environmental Exposure Limit

TWA: Time Weighted Average

OSHA: Occupation Safety and Health Administration

- (3) 作業環境暴露限界: エム・ケイ・ジャパン(株)衛生基準濃度 1000ppm v/v—8時間  
 (TWA値)
- (4) 設備対策 : 十分な局所排気設備の設置、あるいは設置の密閉化  
 : 空気より重いため、低位置からの排気にも配慮する。  
 : 収納場所の近くに安全シャワー・手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- (5) 保護具 : 呼吸用保護具—非常時あるいは換気不良状況下で着用する。  
 : 保護メガネ・保護手袋・ホゴマスク・保護衣を着用する。

## 9. 危険性情報 (安定性・反応性)

- (1) 引火点 : なし (4)
- (2) 発火点 : データーなし
- (3) 爆発下限 : なし (5)
- (4) 安全性・反応性 : 通常の下条件下で安定。熱分解は 897°Cで 0.1%、1137°Cで 46%  
 である。(6)
- (5) 回避条件 : 裸火や赤熱物質存在下での使用  
 : 高湿度条件下での使用
- (6) 反応性物質 : 微細金属粉  
 (伴用禁止物質) : マグネシウム及びマグネシウムを 2%以上含む合金  
 : ナトリウム・カリウム・バリウムなどのアツカリ金属及びアルカリ土  
 類金属とは激しく反応する。
- (7) 危険な分解性成物 : 熱分解や加水分解によりフッ化水素 (HF) 及び微量のフッ化カル  
 ボニル (COF<sub>2</sub>) を生じる。

## 13. ご注意

- ・ 記載内容は、誠意をもって正確を期しておりますが、物理化学的性質の数値は保証値ではありません。
- ・ 危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に元図いて作成しておりますが、全ての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。
- ・ 製品を個々の目的に使用する場合の適応性は顧客様にご判断頂くものであり、**エム・ケイ・ジャパン(株)**では、どんな用途であれ、製品の適応性を保証するものではありません。
- ・ 法律で禁じられている以外は、明言されているどうかにかかわらず、（法律の有無に関わらず）**エム・ケイ・ジャパン(株)**は一切の保証は致しません。

また、このデータを信頼したことに基づく損失や損害（欠陥商品による死亡や怪我が実証された場合を除く）一切の責任を負いません。特許、著作権及び商品設計の使用は硬くお断りします。